

支援の内容(10/15～11/15 延べ人数1,501人)

1 先遣隊・マネジメント(10/15～11/15) 32日間 延べ212人

○主な内容

- ・現地ニーズの把握
- ・関係機関及び道との調整
- ・避難所運営及び罹災証明書発行に係る各種調整・点検

○先遣隊メンバー

- ・道危機対策課

主幹2名 [男性1：総務省災害マネジメント総括支援員
女性1：防災教育(避難所運営等)担当]

主任1名(男性1：元 東京消防庁 消防士)



2 避難所運営(10/17～11/15) 30日間 延べ619人

○主な内容

- ・給食支援
- ・衛生管理
- ・清掃業務
- ・物資の管理
- ・避難者からの要望・相談の受付



3 罹災証明書等業務(10/17～11/15) 30日間 延べ549人(うち市町村職員169人)

○主な内容

- ・証明書受付
- ・現地調査
- ・調査図面整理
- ・証明書発行、郵送
- ・災害ゴミ案内業務



4 保健師等による活動(10/16～11/15) 31日間 延べ121人 ※厚労省より派遣要請

○主な内容

- ・保健医療福祉ニーズの把握
- ・避難所等の巡回による健康相談
- ・避難所の感染症対策等の環境整備
- ・町職員向け健康相談・健康管理支援



避難所一斉点検

○避難所開設後、3週間余りが経過し、長期に渡って衛生・健康的な避難生活を確保するため、11月6日～15日にかけて、保健・医療関係者のアドバイスの下、避難所の一斉点検を実施

打合せ 11/6 9時～10時

<出席者 約30名>

- ・石巻赤十字病院 植田副院長（避難所・避難生活学会理事）
- ・北海道避難所運営担当
- ・保健師：北海道、宮城県、北見市、仙台市、山形市、滋賀県、三重県
- ・その他：青森県看護協会、宮城県公衆衛生チーム、宮城県歯科医師会、宮城県歯科衛生士会、宮城県理学療法士会、丸森町（保健福祉課）

<主な内容>

避難所の環境改善について

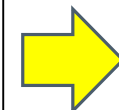
- ・寒冷時期の到来に備える感染症防止対策と暖房及び乾燥対策
- ・インフルエンザ等感染症発生時における避難所での隔離対策 等

点検及び主な対応

11/6

○改善を要する事項

- ・体育館避難所でのゴザや絨毯の使用
- ・感染症対策
- ・暖房対策
- ・乾燥対策
- ・カビ防止対策
- ・自動ラップ式トイレの誤使用



11/6～15（主な対応）

○改善事項

- ・ゴザや絨毯の撤去、寒さ対策として厚手靴下を給付
- ・手洗いの励行、手指衛生用アルコール製剤等の配置位置を変更
- ・感染症発生時に備え、隔離場所を確保
- ・電気毛布や空気清浄機の使用を可能とするため、体育館の電圧の増強を検討
- ・空気清浄機付加湿器の設置
- ・段ボールベッドへの洗濯物干しを控え、洗濯物干し場を設置（女性用洗濯物干し場にテントの使用を検討）
- ・自動ラップ式トイレの使用方法を明示
- ・汚物ゴミの分別、蓋付きゴミ箱の設置

(参考) 丸森町派遣職員の内訳 (実人数:251人)

10月15日~11月15日

区分		人数	内 訳
道職員	本庁 (各種委員会等含む)	135人	総務部42人、総合政策部8人、環境生活部7人、保健福祉部7人、経済部8人、農政部12人、水産林務部12人、建設部12人、出納局6人 議会6人、監査委3人、人事委2人、労働委2人、教育8人
	(総合) 振興局	86人	空知12人、石狩9人、後志9人、胆振3人、日高8人、渡島10人、檜山6人、上川10人、留萌6人、オホーツク1人、十勝9人、釧路2人、根室1人
	道職員計	221人	-
市町村職員		30人	岩見沢市2人、三笠市2人、旭川市4人、厚真町6人、むかわ町2人、白老町4人、八雲町4人、新得町2人、芽室町4人
北海道計		251人	北海道221人 (本庁14部局、13 (総合) 振興局) 市町村30人 (9市町)

(参考) ご協力頂いた民間企業の皆様

会社名	(株)ウォレット ジャパン	(一社)北海道地区レ ンタカー協会連合会	(株)福助	KDDI(株) (株)ドコモ北海道支社	(株) 彩生
内 容	コンテナ型トイレを避難所2カ所に設置し、衛生的なトイレ環境を提供	派遣職員の移動手段を確保するため、被災地周辺のレンタカーを一括手配	避難者の防寒・低体温症予防対策として、保温性能の高い靴下を提供	派遣職員間や道との情報共有用にスマートフォン等を提供	避難所内の騒音対策及び感染症予防のため、カプセル型段ボールベッドを提供
写 真					